



小田原 平塚・修善寺・柏久保正教会だより

2023年2月1日発行 第246号

КРЕСТЪ クレスト

2023年2月号

司祭 ディミトリイ 田中 仁一

〒250-0011 神奈川県小田原市栄町四丁目 4-1

TEL/FAX : 0465-22-2792 携帯 070-5079-3408

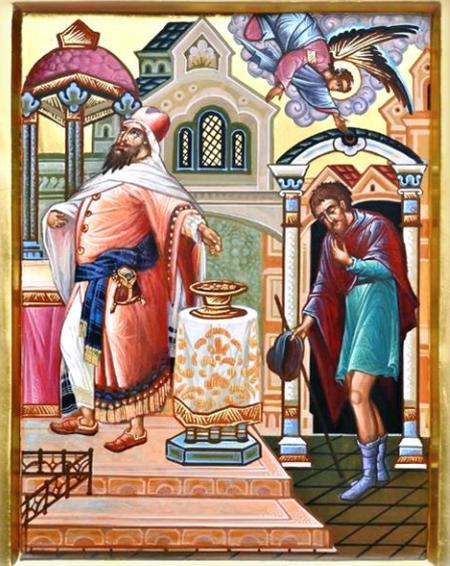
E-mail: holyspiritodawara@gmail.com

教団 HP: <http://www.orthodoxjapan.jp/>

小田原正教会 HP: <http://odawara-orthodox.com/>

郵便振替口座(小田原): 00270-6-15226

いのち たま しゅ われ
生命を賜うの主よ、我に
つうかい もん ひら けだし
痛悔の門を啓けよ、蓋
わ たましい まった けが からだ
吾が 霊 全く汚れし體の
どう き もの なんじ せいどう
堂を衣たる者は爾の聖堂に
むか あさ きとう たてまつ
向いて朝の祈禱を奉る。
ねが なんじ じんじ
願わくは 爾仁慈なるに
よ なんじ おんちよう
因りて、爾の恩寵にて我を
きよ たま
潔め給え。



ぜいり
税吏とファリセイの主日早課ステイヒラより

ぜいり
税吏とファリセイのアイコン: 復活祭前に行われる四旬大齋(節制期間)にはそのための準備期間が約ひと月ある。ルカ伝からの 譬 をテーマとした「税吏とファリセイの主日」はその準備期間の主日のひとつである。アイコンの左側に描かれているファリセイ(パリサイ)とは厳格に規律を守るユダヤ教の重要な一派である。左手で献金皿にお金を投げ入れて、神に次のような祈りをする。「自分は不正をせず、断食も行い、規定通り献金をしている。あそこの取税人のような人間でないことを感謝する。」それに対して右に描かれた取税人は自分の罪を思い、聖堂の中で顔を上げることもなく、神に憐れみを求めている。アイコンを見ても分かるように天使は後ろに立つ取税人に向かって手を差し伸べようとしている。このアイコンのとなりのステイヒラ(祈りの句)は税吏の祈りを表していて、大齋期間の早課の中で聖歌として歌われる。

●税吏とファリセイの主日聖体礼儀 (第1調) ・学び会 (誦経) 昼食後

2月5日(日) 10:00～ (9:30 痛悔)

使徒経: ティモ後 296 端 (3:10-15) 福音経: ルカ 89 端(18:10-14)

●断肉 (審判) の主日聖体礼儀 (第3調) ・月例パニヒダ

2月19日(日) 10:00～ (9:30 痛悔)

使徒経: コリ前 140 端 (8:8-9:2) 福音経: マト 106 端(25:31-46)

※2/19 聖体礼儀、昼食をはさみ、小田原教会信徒会館にて教区主催の聖歌研修を行う予定です。2月に予定されている行事については7ページをご覧ください。

正教会にようこそ 26

(2023年1月号の続き) ちょっとその町に勇敢な警官を是非映画化したいと映画制作会社がやってきたことを想像してみてください。多くの町の人達は、それは素晴らしいと言うに違いありません。ところが制作会社の説明をよく聞いてみると、彼らは警官が暴力によって死んでいく場面に焦点を当てた映画を作りたいと言うのです。その方が警官の救出場面よりずっと観客が引き込まれる、したがって映画では警官が暴力によって辱められる部分をより多く見せたいのだ、と。町の人々は、自分たちの英雄がそのように映画化されるなんて、と胸を悪くするでしょう。

復活祭直前の一週間を聖大週間(プロテスタント教会でいう受難週)の中で、正教会にはキリストの苦しみと死を讃える「十二福音」という祈祷の時間があります。(聖大金曜日早課という祈祷ですが、おおよその正教会では聖大木曜日の夕方に行われます。カトリック教会では洗足木曜日となります。)十二福音では、司祭や輔祭が、四福音書の中のキリストの受難の行を12に分けて読み、第一の読みは、キリストが弟子たち最後に諭しめる場面から読まれます。(ヨハネ/イオアン 13:31-18:1)そして第十二の福音の読みはピラトがキリストの墓の前に守衛をつける場面で終わります(マタイ/マトフェイ 27:62-66)。正教会の

中には、福音が読まれている間ひざまづく習慣があるところもあります。各福音誦読の間は聖歌や祈りが繋がります。十二福音は3時間にもわたる祈祷で、第一の福音の読みだけでも20分はかかります。よく正教会は聖書を読まないと言われてますが、案外そのようなことはありません。いよいよキリストが十字架に付けられる場面になる福音の読みのところで、次のような聖歌が歌われます。

ひかり ころも ごと き もの らたい しんぼん た
光を衣の如く衣る者は裸体にして審判に立ち、

つく ところ て ほお う う
造りし所の手より頬の打たるるを受けたり、

ふほう ひとびと こうえい しゅ じゅうじか てい
不法の人人は光栄の主を十字架に釘せり。

ときでん まく さ ひ くら
その時殿の幕は裂け、日は暗みたり、

ばんゆう ところ かみ はずか
萬有のふるいおののく所の神の辱しめらるる
を視るに忍びざればなり。

われらかれ ふくはい
我等彼に伏拝せん。

もんとう い どうぞく よ しゅ なんじ くに
門徒は諱みたり、盜賊は呼べり、主よ、爾の国
に於て我を記念せよ。

創造主が十字架上で死に至るまで自ら己の姿を虚しくする。この圧倒的な遜りを見て、全ての創造物は恐れあまり震え慄きます。(ピリポ/フィリップ 2:8)キリストが十字架に架かるイコンの中には、背景の空に太陽と月が顔を背けて天使たちが目を覆っている様子を描いているものもあります。私たちのヒーローがこのような状況にあつたら私たちも同じように顔を覆うことでしょう。

一般メディアの記者と同様に、福音記者たちにもキリストが十字架に架かる場面をどのように書き記すかの選択肢がありました。この4人の福音記者もそれぞれキリストの地上での生涯を違った視点、違った強調の仕方です。ところが、十字架に架かる場面の描写だけは同じような表現で書いているのです。聖使徒パウロ（パウエル）もガラテヤ人への手紙6章の中で「十字架の他に誇るものはない」と宣言しています。ところが、使徒行伝（聖使徒行実）の一章を読んでも、ユダが裏切りの行為のあと自殺した場面については、その悲惨な死の様子を躊躇することなく描写しています。

なぜ、主の十字架上の死の場合は慎むのでしょうか。それにはまず、私たちが福音記者たちの救いに対する考え方の違いを知らなければなりません。あなたなら、苦しみと勝利のどちらに重点を置きますか？キリストの苦しみを表現するために痛みとか流血に焦点を置いた作品は、私たちにその苦しみがいかなるものかを感じさせてくれます。人々が痛みの方に注意を引かないようにした作品は、人々は痛みに関してはその作品からは分からないので、寧ろ神への畏怖の方に意識が働きます。そして神が苦しみを受けて死ぬとき、私たちがその威厳にひれ伏すしかなくなります。

またある人々はより写実的な作品、「リアル」を

求めます。しかし、キリストが十字架に架かった日とする受難週間金曜日（聖大金曜日）における「リアル」とはいったい何でしょうか。実際にはキリストが血まみれになって死んでいく場面を見ていた傍観者たちもいました。彼のために泣く人と同じ数だけあざけ笑う人々もいた、それがリアルです。アイコンが示すのは、見る目のある人だけが理解することのできる別次元でのリアルです。十字架上の私たちの救い主は「勝利者」です。何に勝ったのかと言えば、それは人類初期からの敵である「死」に対してです。

私たちはこうした事実を見ることができますか？霊的な歩みはまさしくこうした目を養っていくことです。とかく私たちは、この世に沿った範囲で物事を受け止めようとしがちです。神はこうした人間の自由の意志に何らかの仕掛けをしようとはしません。人間の変化をどこからからじっと見ているのかもしれませんが。

アイコンが示すような事実は私たちの偏った意識を正すのに役立ちます。そのアイコンの中にある全てのもの、つまり山などそこに描かれた背景全てが神の存在を表現しています。十字架のアイコンは分かりやすい方ですが、そういった目が養われれば、全てのアイコンからこの世の認識とは別の「リアル」を見出すことができます。もちろん私も含め実に弱くて一握りの事実しか掴み取ることができていませんが。

最近の出来事・消息

小田原・平塚 新年祈祷 2022年12月31日から2023年1月1日かけての深夜、8名が集って新年聖体礼儀を行いました。新年感謝祈祷は1月1日11時から、15名が集って感謝と祈願を捧げました。

降誕祭 1月6日(金)、7日(土)、降誕祭を行いました。前晩の6日は晩堂大課・早課・一時課を行いました。7日は三時課・六時課と聖体礼儀を行いました。が20名程が集って降誕祭を祝いました。降誕祭のために様々なご奉仕を神様にされた方々に感謝申し上げます。

神現祭・大聖水式 1月18日(水)、19日(木)、神現祭を行いました。1月中盤から小田原ではコロナ感染が増大し、急遽参拝に制限をかけました。したがってその前の主日である15日も少人数で聖体礼儀と大聖水式を行いました。冬の大祭を待ち遠しくされていた信徒の方々にとって参拝自粛という大変なご協力を賜りました。状況を慎重に見極め、再び皆で祈祷できることを祈りながら過ごす1月となりました。



修善寺・柏久保 降誕祭 1月14日(土)・15日(日)に修善寺・柏久保にて降誕祭の祈祷を行いました。柏久保教会では14日17時より晩課を行いました。柏久保地区でも新型コロナウイルスの感染が増加中のため、来られる方々だけでの祈祷となりました。翌日の15日は修善寺・柏久保両教会の降誕祭聖体礼儀を行いました。このような状況を鑑みて、祝賀会は行いませんでした。しかし、婦人会や信徒の有志がお菓子やお弁当のプレゼントをご用意下さり、心温まる集まりとなりました。またクイリングという手工芸を教えておられるユリヤ津田里子姉が、生神女庇護のイコンを約3年かけてクイリングにて製作し、教会にご献納下さいました。細かな手作業でこのような生神女のイコンが作られたことに感動しました。

横浜 降誕祭 12月24日(土)25日(日)に降誕祭を行いました。25日の聖体礼儀後には教会からのプレゼントが参拝者に配られました。ささやかではありますが祝賀会も行いました。1月2日11時から新年感謝祈祷を行いました。十数名が集まり、感謝の祈祷をささげた後、互いに新年を祝う挨拶をかわしました。1月20日(土)21日(日)は暦から3日遅れではありますが神現祭を行いました。大変寒い中でのご祈祷となりましたが、皆神現祭を祝ったのち、成聖されたばかりの聖水をとって帰りました。

教区 誦経者研修会 1月9日(月)と10日(火)の二日間、東京大主教区南部の教会の信徒を対象とした誦経者研修会が開催されました。一日のみの参加も含めて総勢30名程が参加しました。一日目はステファン桑原建夫神父様が誦経の基本に関する講話をされました。その後、実践を中心としたコースと誦経に関心を持っている方々を対象としたコースに分かれて研修会が行われました。夕食としてお弁当が配布され、黙食の後、信徒間の交流の時間としました。(5ページに続く)

幾年も! 1月21日(土)午後1時、横浜教会にて富永ユリヤ姉の長男、ルスラン君(3歳)がゴルディの聖名で洗礼を受洗されました。幾年も!幾年も!幾年も!

各教会の冬の大祭などの様子は裏表紙に掲載していますのでご覧ください。

東京大主教教区誦経奉仕者研修会レポート

(前頁の続き)二日目は、一日目に神父様方から賜った助言に気を付けての練習や講話に対する質疑応答を行いました。昼食のあと総括を行って解散しました。横浜教会から青柳廣執事長・庄司将敏兄・斎藤行兄・田島あずさ姉・井上達己兄、小田原から日比野俊二兄、中谷航兄、中谷ヤーナ姉、柿添琳子姉、内藤直樹兄、田中祐子姉、修善寺から山田亨執事長、野田幹太兄が参加しました。



誦経の基本「読み方」と「所作」研修会感想

今回で2度目の研修会参加となります。

修善寺教会にて10年余、誦経に奉仕させて頂いております。読み方の基本について各教会信徒の皆様誦経を初めて耳にし、私自身の誦経の読み方で良いのか、今までの読み方で良いのか非常に戸惑う所があり、信徒の皆様誦経を拝聴させて頂き「耳から鱗」でした。

信徒一人一人の読み方について、桑原神父様のご指摘、アドバイス等的確に教授頂き大変勉強になりました。私へのご指摘は「途中疲れてしまいましたね!」というお言葉を頂きました。三時課での第五十聖詠を読み始めたところより、私自身も時々感じる時があります。まだまだ時課経の読みが足りない事に痛感させられました。トップバッターで誦経されました横浜教会の信徒様のスピード、的確な読みには感心させられました。このような誦経の読み方をされる方がいらっしゃると思いませんでした。

私の誦経が如何に未熟であったか良く分かりました。1日だけの参加では有りましたが私にとっては実に有意義な研修会でした。会で頂きました基本資料を読み返し、今後所属教会の神父様のご指導を頂きながら、信徒の皆様聞き易い誦経の読みが出来る様精進して行きたいと思っております。

この度の研修会にご指導頂きました神父様方に感謝申し上げます。

修善寺ハリストス正教会 イオアン 山田 亨兄

誦経研修会の感想

1月9日(月)に東京ニコライ会館で催された誦経研修会へ参加しました。東京近郊、静岡から各教会の神父、信徒が集まり、講話を聞き、実践、交流する様子を見るのは、普段小田原教会しか知らない私にとって新鮮でした。第一部の講話では、誦経を行う際経験とともに陥りやすい注意すべき点の解説、神父が気持ちよく祈禱を行えるため誦経者ができる配慮について教わりました。第二部では、誦経経験者の部に参加しました。各教会を代表し誦経を披露し、改善できる点、特に秀でている点をご指摘頂きました。私は普段教会スラヴ語で誦経奉仕をしていますが、教会スラヴ語は、各フレーズの語尾が韻を踏むように揃っているため、流れるように誦経するのに適した言語だと言えます。一方で、日本語は開音節で余計な母音が入りやすく、間違った抑揚を付けてしまうことで本来の単語の意味やリズムを損なってしまうことがあります。日本語で誦経を行う難しさを再確認しました。

小田原ハリストス正教会 イリナ 柿添 琳子姉

誦經研修会に参加して

1月9日、10日にお茶の水の東京大聖堂信徒会館にてステファン桑原神父、ガウリイル田中神父を講師として東京大主教教区誦經研修会が開催されました。今回は東京大主教教区の南部の教会が対象であり、山手、横浜、修善寺等の教会から約30名が参加しました。小田原からは4名参加し、私は初日のみ参加しました。9日は午後からでしたがまず始めにステファン桑原神父の講義がありました。基本的な事項を丁寧に解説頂き非常に参考になりました。特に重要な語のアクセント（アミン、アリルイヤなど）、主憐れめよの繰り返し等については、良い事例と悪い事例を示して頂き、しっかりと記憶に残りました。

次に参加した各人が、三時課の初めから五十聖詠までの誦經をおこない、ステファン桑原神父よりコメントを頂きました。それぞれ誦經のスピード、声の高さ、文章の区切り等にアドバイスを頂き大変に参考になりました。

これからは、今回の研修で教わったポイントをしっかりと頭に置いて誦經にあたりたいと思います。

小田原ハリストス正教会 パウエル 日比野 俊二兄

東京大主教教区誦經研修会及び信徒親睦会に参加して

まず講話では、管轄司祭の祈祷のスピードや所作に合わせて誦經することが最重要であり、信徒代表で読み（唱え）聞かせていることを忘れずに行うこと。更に、司祭の祈祷と聖歌との橋渡しの役割なので、聞き易くゆったりと流れるように唱える事が大切であり求められること。

基本は、「真っ直ぐ、聞きやすく」。常に初めて誦經をやる気持ちで取り組むこと。早い誦經と上手な誦經とは別物であること（急がず、耳障りな抑揚はつけない）と教えていただきました。

実習では、実際に皆の前で“読み（唱え）”を行い、講師の神父に寸評をいただいた。実際に読んでみると、自分が正しく発音できていない言葉（例えば「主、憐れめよ」が「しゅわれめよ」となり「しゅ、あわれめよ」と、しっかり発音できていない等）が他者より多く、己がいかになっていないか痛感する事に……。精進いたします。

修善寺ハリストス正教会 バルナヴァ 野田 幹太兄

東京大主教教区誦經研究会の参加報告

この度、東京で開催された誦經研修会に初めて参加しました。当日はステファン桑原神父とガウリイル田中神父、デミトリイ田中神父を講師に迎え、講義と実践の2部構成で研修会が行われました。

基本を教える講義では、ステファン桑原神父とガウリイル田中神父が初学者にもわかりやすく、実例やたとえ話などを用いながら解説をしてくださいました。教会ごとの誦經の事情や誦經と神父所作の関係など、普段はわからないことや聞きにくい話を聞く機会に恵まれたことは、今後の教会で奉仕する上で大変勉強になる内容でした。ステファン桑原神父が言われた「誦經をする人は、そこに集まっている人を代表して読み、聞かせているのだということを忘れない」という言葉を心に刻みたいと思いました。

実践の部では、誦經をしながら神父に指導を受けるコースと、誦經に必要な心持ちを学ぶコースに分かれて研修を行いました。誦經の心持ちを学ぶコースでは、デミトリイ田中神父がギリシャでの経験を踏まえ、信者の目線に立った明瞭な解説をしていただきました。普段から声に出して読むこと、響きを意識することなど、普段の生活でも実践できる実用的な知恵をいただきました。

今回の研修会を通じて、自身の目指すべき誦經のあり方を見出すことができ、大変有意義だったと感じました。研修会に参加できたことを心から感謝申し上げます。

小田原ハリストス正教会 ハリストフォル 中谷 航兄

小田原・横浜教会大齋2月・3月前半祈祷スケジュール

- 横浜 2月26日(日) 10時～ かんらく 乾酪の主日聖体礼儀/しやざい 赦罪の晩課
- 小田原 2月26日(日) 16時～ しやざい 赦罪の晩課
- 小田原 2月27日(月) 9時～ 大齋初週 早課・時課・晩課
- 横浜 2月28日(火) 9時～ 大齋初週 早課・時課・晩課
- 横浜 3月1日(水) 9時～ 大齋初週 早課・時課・晩課・先備聖体礼儀
- 小田原 3月3日(金) 9時～ 大齋初週 早課・時課・晩課・先備聖体礼儀
- 小田原 3月5日(日) 10時～ 大齋初週主日 正教勝利の主日聖体礼儀

東京大主教教区主催

聖歌研修会 @小田原

日時：2023年2月19日(日)聖体礼儀後

場所：小田原ハリストス正教会 信徒会館

講師：リュボフ田中博子姉(横浜教会)

聖歌は全て祈りの言葉。聖歌は私達が教会で行う祈禱の大切な一部です。聖歌研修会は、実践を交えて行っています。皆さまのご参加をお待ちしています。

新型コロナウイルス感染状況が悪い場合は中止します。
日が近くなった頃、教会までお問い合わせ下さい。

東京大主教教区主催信徒研修会

「師父ドロフェイを読む」

講師：司祭ステファン桑原建夫師
司祭ディミトリイ田中仁一師

日時：2023年2月23日(祝)
13時～15時

場所：東京 ニコライ会館

※参加希望者は教会まで

小田原 学び会 (誦経)

2023年2月5日(日) 聖体礼儀後

誦経としていますが、主日で読まれる時課の内容を解説します。どなたでも参加いただけます。
次回は4月第一主日、学び会(聖歌練習)の予定です。

献金報告 2/20 現在 日付は会計処理日です。ありがとうございました。

日付	氏名	摘要
12/21	假野 聡様	埋葬献金
12/26	神谷 淳一兄	パニヒダ献金
	神谷 淳一兄	降誕祭献金
	神谷 綾子姉	降誕祭献金
1/7	内藤 直樹兄	降誕祭献金
	高橋 達哉兄	降誕祭献金
	三枝 愛姉	降誕祭献金

日付	氏名	摘要
1/7	神谷 忠明執事長	降誕祭献金
	安達 紀彦兄	降誕祭献金
1/16	神谷 忠明執事長	パニヒダ献金
	山口 晃兄	埋葬献金
	ビクトル アレニコフ兄	降誕祭献金
	岡野 康子姉	降誕祭献金
	山口 幸夫 副輔祭	降誕祭献金

7 婦人会献金：今回はありません。

【2023年2月】小田原/平塚・修善寺/柏久保・横浜教会月間活動予定表

日	曜日	祈禱・行事・集会	主日・調・聖書の読み
1	水	[東京]	2/5 税吏とファリセイの主日 第1調 使徒経: ティモ後3:10-15 福音経: ルカ18:10-14
2	木	[東京]	
3	金	[小田原]	
4	土	[O 小田原] 主日前晩禱(17:00)	
5	日	[O 小田原] †主日聖体礼儀(10:00)・学び会(誦経) [Y 横浜] 主日代式祈禱(10:00)	
6	月	[横浜] 私祈禱(横浜外人墓地 11:00)	2/12 柏久保・修善寺 蕩子の主日 第2調 使徒経: コリ前6:12-20 福音経: ルカ15:11-32
7	火	[東京]	
8	水	[東京]	
9	木	[東京]	
10	金	[小田原]	
11	土	[K 柏久保] 主日代式祈禱・聖歌練習(10:00) [Y 横浜] 祭日前晩禱(17:00)	2/12 横浜 主の迎接祭(十二大祭) 使徒経: エウ7:7-17 福音経: ルカ2:22-40
12	日	[S 修善寺] 主日代式祈禱(10:00) [Y 横浜] †祭日聖体礼儀・月例パニヒダ(10:00)	
13	月		
14	火	[東京]	2/16 小田原 主の迎接祭(十二大祭)・日本 の亜使徒聖ニコライ祭
15	水	[東京] 主の迎接祭(十二大祭)	
16	木	[O 小田原] 日本の亜使徒聖ニコライ祭	
17	金	[修善寺] 誦経者勉強会(18:00)	
18	土	[教区] 合同聖歌隊練習会(ニコライ会館10:00) [O 小田原] 主日晚課(17:00)	2/19 断肉(審判)の主日 第3調 使徒経: コリ前8:8-9:2 福音経: マト25:31-46
19	日	[O 小田原] †主日聖体礼儀・月例パニヒダ(10:00) 教区主催聖歌研修会(予定) [Y 横浜] 主日代式祈禱(10:00)	
20	月		
21	火	[東京]	2/26 乾酪の主日/赦罪の主日 第4調 使徒経: ロマ13:11-14:4 福音経: マト6:14-21
22	水	[東京]	
23	木	[東京] 教区信徒研修会(ニコライ会館13:00-15:00) 天皇誕生日	
24	金	[横浜] 執事会15:00 伝道会18:00	
25	土	[Y 横浜] 主日前晩禱(17:00)	
26	日	[O 小田原] 主日代式祈禱(10:00)・駐車場清掃 赦罪の晩課(16:00) [Y 横浜] †主日聖体礼儀・赦罪の晩課(10:00)	
27	月	[O 小田原] 大斎早課・時課・晩課(9:00) 晩堂大課・アントレイの大カノン(1500)	
28	火	[Y 横浜] 大斎初週祈禱(9:00) 晩堂大課・アントレイの大カノン(1500)	

[]内は司祭または教区の活動。 † means where Divine Liturgy is held. K O S Y are initials of each parishes.

* 聖体礼儀に参拝し領聖するときは、前日から十分に節制しましょう*

* ここには主日の聖書の読みが記載されています。お手持ちの聖書を読むときに活用して下さい。



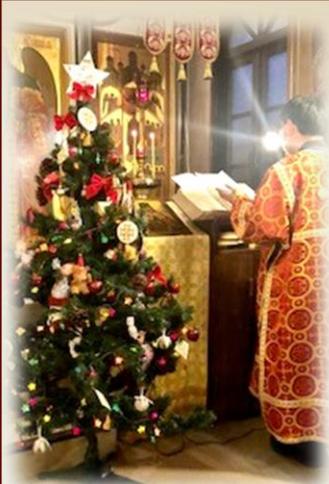
2月の永眠者一覧(敬省略)

永眠日	聖名	氏名	永眠年	縁故者
1日	シモン	渡辺 正	1996年	渡辺 万千子
1日	オリガ	廣石 利子	2011年	廣石 卓也
1日	ハリタ	吉崎 恵	2017年	山口 幸夫
2日	ミロン	廣石 清四郎	1976年	廣石 明美
3日	エレナ	小杉 けさお	1934年	小杉 悦子
5日	イアコフ	小島 憲	1944年	山口 晃
6日	マリヤ	廣石 君子	1991年	廣石家
9日	ハリテナ	窪田 スズ	1994年	窪田 幸夫
11日	イウニヤ	廣石 ワカ	1983年	廣石 明美
12日	イオアン	神谷 政久	1988年	神谷 幸夫
15日	パウエル	中村 秀雄	1984年	中村 美枝子
17日	イオアン	廣石 辰男	2008年	廣石 末子
19日	シメオン	小杉 英男	2018年	小杉 悦子
20日	ペトル	加藤角次郎	1958年	加藤 宏
21日	イリナ	加藤 屯子	1995年	加藤 宏
23日	マリヤ	中島 静江	1919年	中島 康雄
23日	パウエル	上野 貞	1963年	上野 攻
23日	ペトル	紺野 雅幸	1923年	紺野 雅章
23日	ルキヤ	廣石ルキヤ	1938年	廣石 明美
24日	アンドレイ	中島 浅吉	1957年	中島 康雄
26日	ソフィヤ	中島千代子	1962年	岡野 康子
27日	アキラ	日比野 彰	1994年	日比野家
27日	イリヤ	小杉 源左衛門	1921年	小杉 悦子
28日	マリヤ	津田 千代枝	1991年	津田家

今月は第3週日曜日に永眠者の記憶を祈る「パニヒダ」を行います。聖堂は皆さんのお祈りの場、そして皆さんの^{たましい}霊が永遠に養われる場です。ローソクを灯して少しの間、ご家族のために祈りに来られるだけでも大変結構です。どうぞ遠慮なさらずお越しください。(月例パニヒダの日は必ず会報をご確認ください。)



フォトレポート



横浜降誕祭
(12/25)



小田原 新年感謝祈禱 (1/1)



小田原降誕祭 (1/7)



↑クイリングによる
生神女庇護のイコン (修善寺)



↑修善寺・柏久保降誕祭 (1/8)

柏久保降誕祭晩課 (1/7)

小田原 神現祭・大聖水式 (1/19) ↓



横浜 神現祭・大聖水式 (1/22)
祭日の前晩禱の誦経を初めて行う
奉仕者に教える様子

各教会の皆様、祭のためのご準備ありがとうございました。